

# 平成20年度 市町村における「地域づくり型生涯学習」に関する調査

## 取りまとめ結果

090427 / 人づくり文化課

### A 「地域づくり型生涯学習」推進について

問1 県では昨年度(19年度)より「地域づくり型生涯学習」を推進しています。この「地域づくり型生涯学習」の推進にあたって、貴市町村では生涯学習担当課とまちづくり担当課との連携をどのように図っていますか。次のア～キのうち、該当する項目すべてに をつけてください。

	計	19年度
ア 生涯学習を総合行政としてとらえ、生涯学習推進会議などを設置し、全庁的な推進を図っている。	7 (16.7%)	10
イ 生涯学習担当課とまちづくり担当課が、計画的に連絡会議を持ち連携を図っている。	0 (0.0%)	
ウ 生涯学習担当課とまちづくり担当課が、必要に応じて連絡会議を持ち連携を図っている。	4 (9.5%)	1
エ 生涯学習担当課とまちづくり担当課の各担当者が、連絡を取り合い連携を図っている。	18 (42.9%)	16
オ 生涯学習担当課とまちづくり担当課が、地域づくり事業を共同開催している。	2 (4.8%)	2
カ その他	1 (2.4%)	2
キ 生涯学習担当課のみで(あるいは中心となって)事業を行っており、特にまちづくり担当課との連携は図っていない。	19 (45.2%)	19

- ・総合的な行政としての取り組み(回答ア)は、昨年度より後退(昨年度のべ10 7市町村)。
- ・連絡会議・連絡(回答イ～エ)については増加(昨年度のべ19 24市町村)。
- ・生涯学習課のみの対応(回答キ)は、約半数の市町村。

問2 貴市町村でも「地域づくり型生涯学習」の推進を意識した取組を行っていますか。

今年度(20年度)の取組及び来年度(21年度)の実施計画について、具体的事例があればお書きください。

#### 講座の開催

- ・地域課題解決入門、地域づくり活動のきっかけとなる講座、防災ボランティア、子育てサポーターなど
- ・学校支援地域本部事業との連携、
- ・講師としての活用(学んだことを生かす)...住民企画の講座

人材の養成、活用  
 ・市民講師、生涯学習アドバイザー  
 地域での実践 ... ラジオ体操、地域の美化活動、市民運動会  
 地域づくり活動への支援 ... 補助金  
 ・詳細は別紙参照

問3 「地域づくり型生涯学習」の推進にあたって、次の関係機関・団体と、どのような連携を図っていますか。具体的事例（計画中的のものも含む）があればお書きください。【改訂】

大学等高等教育機関	・事業の企画・運営に関する指導・助言 ・講師の派遣 ・講座の企画・運営	15 (35.7%) (19年度: 14)
民間教育事業者	・講師の派遣	4 (9.5%) (19年度: 3)
NPO・ボランティア団体等	・事業の委託 ・事業運営の協力 ・講師の派遣	17 (40.5%) (19年度: 15)
他の行政機関（他の市町村、県、国）	・情報交換 ・講師の派遣	4 (9.5%) (19年度: -)

・「大学等高等教育機関」や「NPO・ボランティア団体等」との連携は多くの市町村で図られている（昨年度よりいずれも増加）  
 ・詳細は別紙参照

問4 県では平成14年度から、「生涯学習に関する情報提供、相談、講座の企画・立案ができる人材」として「岐阜県生涯学習コーディネーター」を養成しており、19年度までに332名を養成してきました。この「岐阜県生涯学習コーディネーター」の活用について、次のア～ウのうち該当するものを1つ選び、をつけるとともに、「ア」の場合にはその活用例を、「イ・ウ」の場合にはその理由をお書きください。【改訂】

ア 活用を図っており、活用している。	イ 活用は考えているが、実際は活用をしていない。	ウ 活用を考えていない。
9 (21.4%)	25 (59.5%)	8 (19.0%)

アの活用例	生涯学習講座の企画・運営 講座の運営ボランティア 子育て支援に関わる協議会役員 担当課職員として、生涯学習コーディネーター専門員を配置。 町で認定した生涯学習アドバイザーのスキルアップのため、認定の翌年に 県の養成講座を受講。その後、組織化し、町の生涯学習の推進の中心とす る。
-------	---

・今後も市町村等に対して、生涯学習コーディネーターの活動例や活用例を紹介しながら、その活用を図っていく。

問5 「地域づくり型生涯学習」を進める上での問題点、課題としてお感じのこと、お考えのことがあれば、以下にお書きください。

<住民>

- ・住民の意識づけ … 「学びを地域社会に還元する活動への取組」  
「自分たちの地域の課題を、自分たちで解決する」
- ・住民との協働の在り方

<行政>

- ・人員削減・予算削減の中での事業
- ・庁内体制の不備 ……庁内職員の理解、連携の不足
- ・住民の活動に対する行政の受け入れ方（柔軟性）
- ・地域づくりリーダーの養成
- ・指導者情報の不足

## B 貴市町村での取組について

問6 今年度、貴市町村で開講した生涯学習の講座について教えてください。

講座数	募集定員	受講者数	人口1,000人あたりの講座数	講座の定員充足率
4,300	105,426	160,127	2.17	105.7%

- 1 通年(1年間)、半期、短期のいずれの講座も1講座と数えてください。
- 2 受講者数は、「申し込み時」の人数で結構です。
- 3 募集人員が無回答の市町村は、受講者数を募集人員とした。

問7 今年度、貴市町村で開講した生涯学習の講座について、特に人気のある講座や分野等、お気づきの点を以下にお書きください。【新規】

・ 詳細は別紙参照

問8 今年度、貴市町村で開講した生涯学習の講座のうち、「地域づくり型生涯学習」に関する講座（地域の実情に応じた課題に関する講座）があれば、以下にお書きください。

	計	19年度		計	19年度
a 趣味・教養	1	2	h 防災	6	7
b 歴史・自然	8	14	i 伝統文化	3	6
c 子育て	2	6	j 多文化共生	1	3
d 青少年育成	0	2	k ボランティア	2	3
e 高齢者	6	4	l 指導者養成	4	1
f 生活	6	1	m シニア活用	0	3
g まちづくり	12	8			

・ 詳細は別紙参照

問9 生涯学習の講座等やイベントの広報は、どのように行っていますか。次のア～クのうち、該当する項目すべてに をつけてください。【新規】

	計
ア 「生涯学習情報誌」として配布している。 （…年1回(15), 年2回(8), 年3回(1), 年4回(3), 毎月(1)）	31 (73.8%)
イ 市町村の「広報誌」に掲載している。 （…毎月(2), 必要に応じて(28)）	37 (88.1%)
ウ 市町村のホームページに掲載している。	26 (61.9%)
エ 登録者に電子メールで配信している。	2 (4.8%)
オ ケーブルテレビや広報無線で知らせている。	12 (28.6%)
カ 講座の受講者やイベントの参加者に、終了時に今後の企画について案内している。	16 (38.1%)
キ その他（…チラシなど）	6 (14.3%)
ク 特に広報は行っていない。	0

- ・ほとんどの市町村が「生涯学習情報誌」や市町村の「広報誌」による広報を行っている(40市町村)

問10 講座も含め、生涯学習関連の事業を進めるにあたって、住民のニーズをどのように把握していますか。

- ・アンケート調査 ...講座受講者、イベント等への参加者、公民館利用者、住民全般
- ・公民館講座の講師からの意見聴取
- ・諸団体からの意見聴取
- ・住民からの意見
- ・会議での意見聴取 ...地区公民館会議、社会教育委員の会、公民館活動推進委員会、公民館活性化委員の会

それをもとに、今年度具体的に実施された事業があればお書きください。

- ・別紙参照

問11 今年度実施された取組、あるいは来年度新たに計画されている取組で、貴市町村の特徴的なもの(生涯学習講座を含む)があればお書きください。【改訂】

- ・別紙参照

問12 貴市町村における生涯学習推進上の課題は何ですか。次のア～シのうち、該当する項目すべてに をつけてください。【新規】

	計
ア 予算の確保	21 (50.0%)
イ 人員体制	22 (52.4%)
ウ 事業の企画	30 (71.4%)
エ 事業の評価	4 (9.5%)
オ 事業の広報	11 (26.2%)
カ 職員の研修	8 (19.0%)

	計
キ NPO等民間団体との連携・協働	13 (31.0%)
ク 指導者の養成	28 (66.7%)
ケ 学校教育との連携	9 (21.4%)
コ 団塊の世代の活用	21 (50.0%)
サ 行政内部の連携・理解促進	23 (54.8%)
シ その他	0

・半数以上の市町村が生涯学習推進上の課題として、  
 体制における課題...「ア予算の確保」「イ人員体制」「サ行政内部の連携・理解促進」  
 内容における課題...「ウ事業の企画」  
 住民との協働における課題...「ク指導者の養成」「コ団塊の世代の活用」  
 を挙げている。

### C 人材の育成・活用について

問13 生涯学習講座の修了者に対して、学んだ成果を生かすことができるような取組（フォローアップ）を行っていますか？ 次のア～コのうち該当する項目すべてに をつけてください。

	計		19年度
ア 人材登録制度（人材バンク）を設け、広報誌やホームページなどを利用して紹介している	1 1 (26.2%)	3 6	8
イ 講座の講師として活用または派遣している。	1 4 (33.3%)		8
ウ 講座や地域活動のボランティアとして活用している。	1 5 (35.7%)		1 1
エ 講座や地域活動をコーディネートする人材として活用している。	1 (2.4%)		3
オ 活躍する場を紹介、斡旋している。	1 6 (38.1%)		9
カ 講座修了者が結成した活動グループを支援している。	2 2 (52.4%)		1 2
キ 学んだ成果を発表する場(ホームページを含む)を提供している。	1 8 (42.9%)		1 1
ク まちづくり活動を推進するための補助金制度を設けている。	5 (11.9%)		6
ケ その他	2 (4.8%)		2
コ 特にない。	6 (14.3%)	6	1 2

・各市町村の取組は、昨年度より大きく広がった。

問14 生涯学習を推進する人材の育成について、どのような取組をしていますか。次のア～カのうち該当する項目すべてに をつけてください。

	計		19年度
ア 講座を開催し、独自に養成している。	8 (19.0%)	2 1	8
イ 「生涯学習インストラクター」養成講座（文部科学省認定の社会通信教育講座）の受講の受講を勧めている。	5 (11.9%)		6
ウ 「生涯学習インストラクター」養成講座（文部科学省認定の社会通信教育講座）の受講にあたって補助金を支出している。	3 (7.1%)		2
エ 「岐阜県生涯学習コーディネーター」養成講座（(財)岐阜県教育文化財団生涯学習センター主催）の受講を勧めている。	8 (19.0%)		1 3
オ その他	5 (11.9%)		3
カ 特にない。	2 1 (50.0%)	2 1	2 1

・半数の市町村が、生涯学習を推進する人材の養成を特に行っていない。

#### D 「団塊の世代」に対する取組について

問15 団塊の世代を対象として、どのような取組をしていますか。次のア～キのうち該当する項目すべてに をつけてください。

	計		19年度
ア 趣味や教養などの学習講座を開催。	2 0 (47.6%)	2 7	1 4
イ 地域づくり活動を行うきっかけとなる講座を開催。	1 1 (26.2%)		1 2
ウ 地域づくり活動を行うきっかけづくりをしているNPO等の活動を支援。	1 (2.4%)		2
エ 団塊の世代を構成員として活動するNPO等を支援。	0		2
オ 団塊の世代が主体となって行う地域づくり活動を支援。	2 (4.8%)		2
カ その他	5 (11.9%)		1
キ 特にない。	1 5 (35.7%)		1 5

ア・イを回答した場合、講座の内容等を下にお書きください。

講座名	実施時期や回数	内容
・ 別紙参照		

ウ～オを回答した場合、具体的な事業を下にお書きください。

事業名	内容
・ 別紙参照	

- ・「趣味・教養などの学習講座」が増加（昨年度のべ14 20市町村）
- ・「団塊の世代」を対象とした取組を行っていない市町村は、1/2から1/3に。

### E 「圏域別生涯学習推進会議」について

問16 今年度は年2回開催（予定）していますが、実施回数は適切だと思われませんか。次のア～ウのうち1つ選び、をつけてください。

ア よい	イ もっと回数を増やした方がよい	ウ なくてもよい
32(19年度：32)	0(19年度：0)	10(19年度：10)

- ・内容については一層の充実させる必要がある。

問17 この会議で実施を望まれることは何ですか。次のア～キのうち、該当する項目すべてにをつけてください。【新規】

	計
ア 国の動向（施策・事業等）についての情報提供	8(19.0%)
イ 県の施策・事業等の説明	10(23.8%)
ウ 他の圏域・市町村の特色ある事業、取組等の事例紹介	26(61.9%)
エ 「地域づくり型生涯学習」モデル事業の紹介・報告	17(40.5%)
オ 講座や研修会の講師等の情報提供	21(50.0%)
カ 担当職員等の研修会	9(21.4%)
キ その他	0

- ・会議では、他市町村の取組事例や研修会講師等の情報提供が望まれている。



問18 このほか、この会議で話題としたいことがあれば、以下にお書きください。

行政の課題の協議したい

・ 首長部局（まちづくり担当）と教育委員会（生涯学習）の連携の在り方について  
他の市町村との連携を図りたい

・ 市町村の区域を越えた生涯学習講座の共催について  
会議の在り方について

・ 担当職員の研修会をこの場で

例）語学講座を地域づくり型生涯学習講座に発展させる方法

地域課題の洗い出し方 など

## F その他

問19 生涯学習全般について、その推進にあたって、ご意見等があれば以下に自由にお書きください。

例）圏域ではなく、全県の担当者会議を開催してほしい。

各務原、可児と大都市での取り組みは、広範囲の中でくらす人たちにふるさとのアイデンティティをもってもらう活動として有効だったと思う。マンパワーも大きなものがあるから一から立ち上がっていくのだと思いました。

地域づくり型生涯学習は、まちづくり担当課がフォローしながら進める生涯学習だと感じているが、縦割り型の行政では一緒にひとつの事業をすすめることがうまくできない。地域課題と市町のまちづくりのビジョンが結びつかないとうまくはいかない。生涯学習担当課ではまちづくりはできないと思っている面もあるし、それを主にして仕事はできない。生涯学習担当課では実質、無理。ライフデザインセンターのようにそれを目的にした首長部局ですすめていくしかない。すでにNPOなどの団体が同様の人材育成を行っている部分もある。

全県の団塊の世代を対象とした教室の取り組みを参考にしたい。

狭小範囲での会議や発表会ではなくて、全県の担当者会議を開催してほしい

「地域づくり型生涯学習」についての活動事例、活動に対する指導講師、機関、NPO等の情報提供を定期的に発信してほしい。